

長野都市圏総合都市交通計画協議会について

1 目的

長野都市圏における総合的な都市交通計画(都市交通行政を進めるうえで基本となる交通計画)の策定及びこれに関する調査を行うことを目的とする。

2 総合都市交通計画について

(1)背景

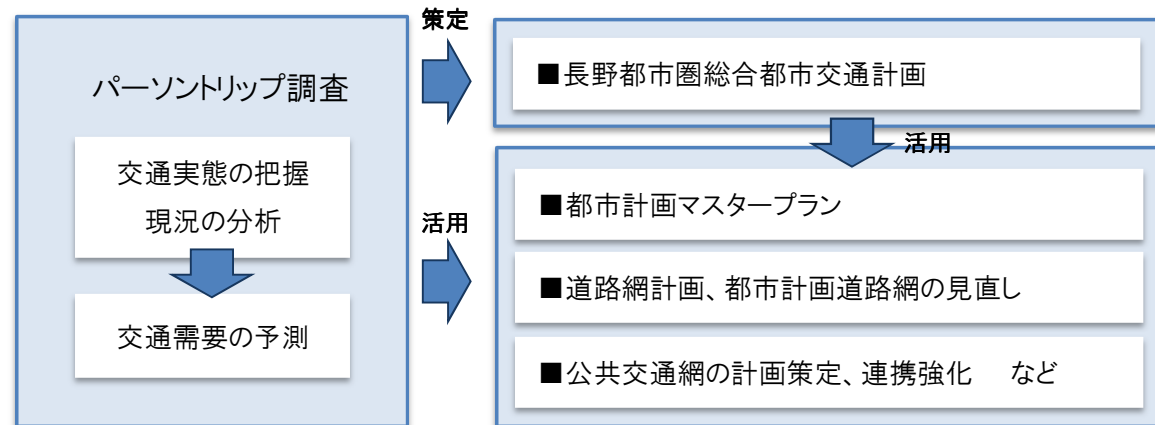
前回の計画から約10年が経過し、長野都市圏を巡る社会情勢等が変化

- 高速交通体系(上信越道4車線化、SICなど)の整備推進
 - 北陸新幹線(長野～金沢間)の開業
 - 市町村合併による生活圏の広域化
 - 本格的な人口減少・高齢化の進展による都市構造の変化
- ※第1回計画策定:平成3年度
第2回計画策定:平成16年度

(2)概要

- パーソントリップ調査(鉄道、バス、自動車、徒歩などによる、人の一日の移動状況の実態を把握する調査)を実施し計画を策定
- 調査結果を踏まえ、新たな「長野都市圏総合都市交通計画」を策定するとともに、調査結果は、都市計画マスタープランの策定、道路網計画・都市計画道路網の見直し、鉄道・バスなど公共交通網の計画策定や連携強化など幅広く活用

<概要図>



(3)対象範囲

■ 前回計画以降、市町村の圏域は拡大しているが、都市の結びつきや交通施設計画上の必要性から、前回調査の考え方を踏襲しつつ、新たな観点を加えて設定する。

【考え方】

- ① 中心都市(長野市)への通勤通学依存率が5%以上
- ② 自市町村以外の第1位通勤通学先が長野市
- ③ 国道等主要幹線道路と鉄道で長野市と連絡
- ④ 地方生活圏など各種の地域分類との整合性
- ⑤ 新幹線駅の有無



図-1 長野都市圏対象範囲

(4)過去の計画策定状況

第1回計画(昭和63年～平成3年度)
 5つの計画課題：都市圏の一体的発展を目指した土地利用構想の策定、高速交通体系の活用
 幹線道路網の計画と都市交通体系の整備、中心市街地の活性化、観光機能の強化・育成
 計画のアウトプット：長野都市圏の将来都市構造と土地利用の設定
 将来道路網の提案、将来公共交通網の提案、中心市街地交通計画の提案
 新たな公共交通機能の導入検討、観光関連交通計画

第2回計画(平成13～16年度)
 基本理念：「つくる」から「活かす」交通体系の実現
 計画のアウトプット：将来幹線道路網計画、将来公共交通計画、まちづくりと一体となった交通計画、
 交通需要マネジメント

前回計画以降のトピック

- ・信州中野 IC～豊田飯山 IC4車線化(H17.4)
- ・小布施・姨捨スマートIC本格稼働(H18.10)
- ・豊田飯山 IC～信濃町 IC4車線化(H21.11)

前回計画以降の市町村合併

- ・大岡村、豊野町、戸隠村、鬼無里村が長野市と合併(H17.1)
- ・豊田村が中野市と合併(H17.4)
- ・牟礼村、三水村が合併し飯綱町へ(H17.10)
- ・信州新町、中条村が長野市と合併(H22.1)



長野駅リニューアル

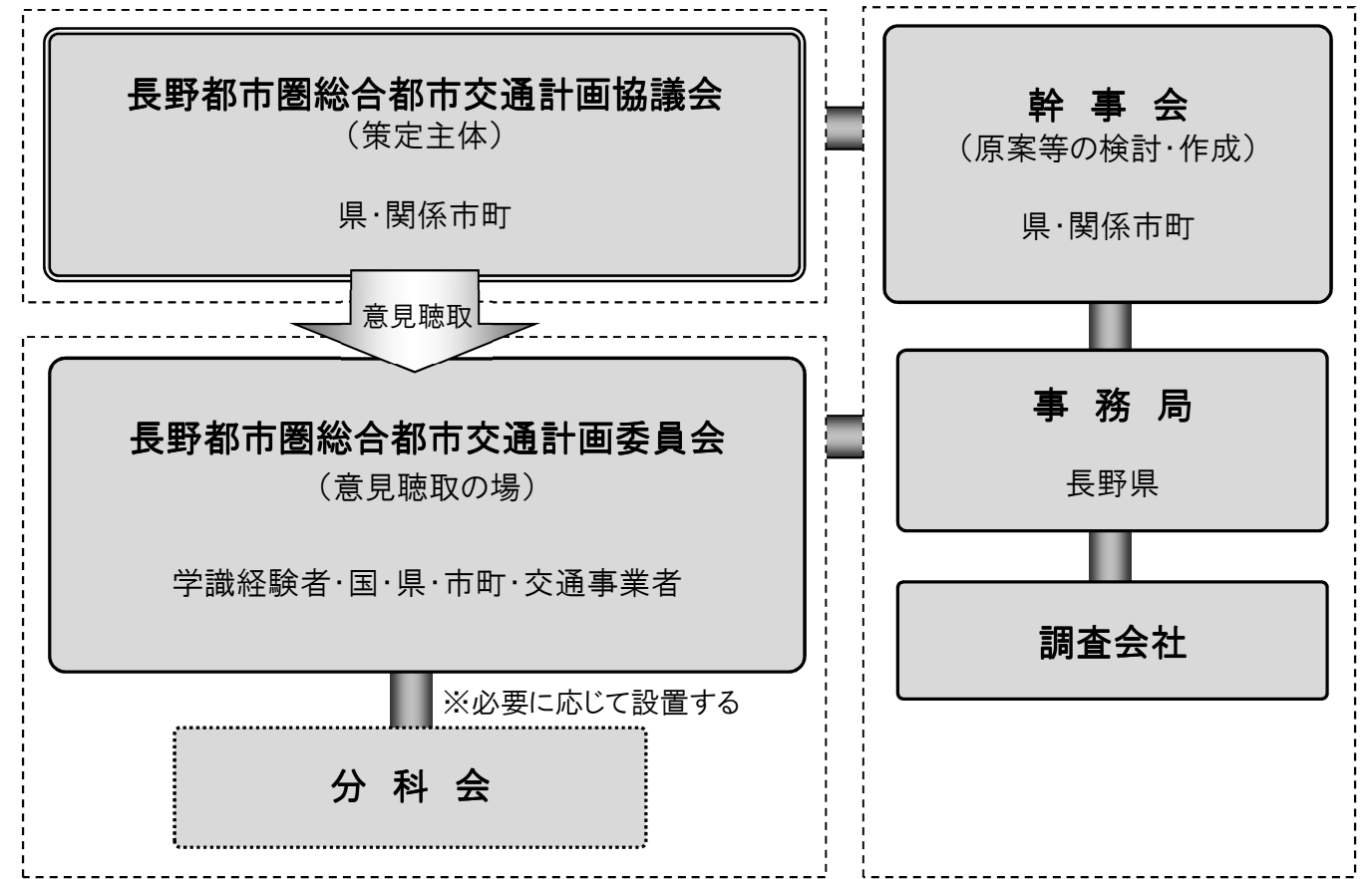


飯山駅開業

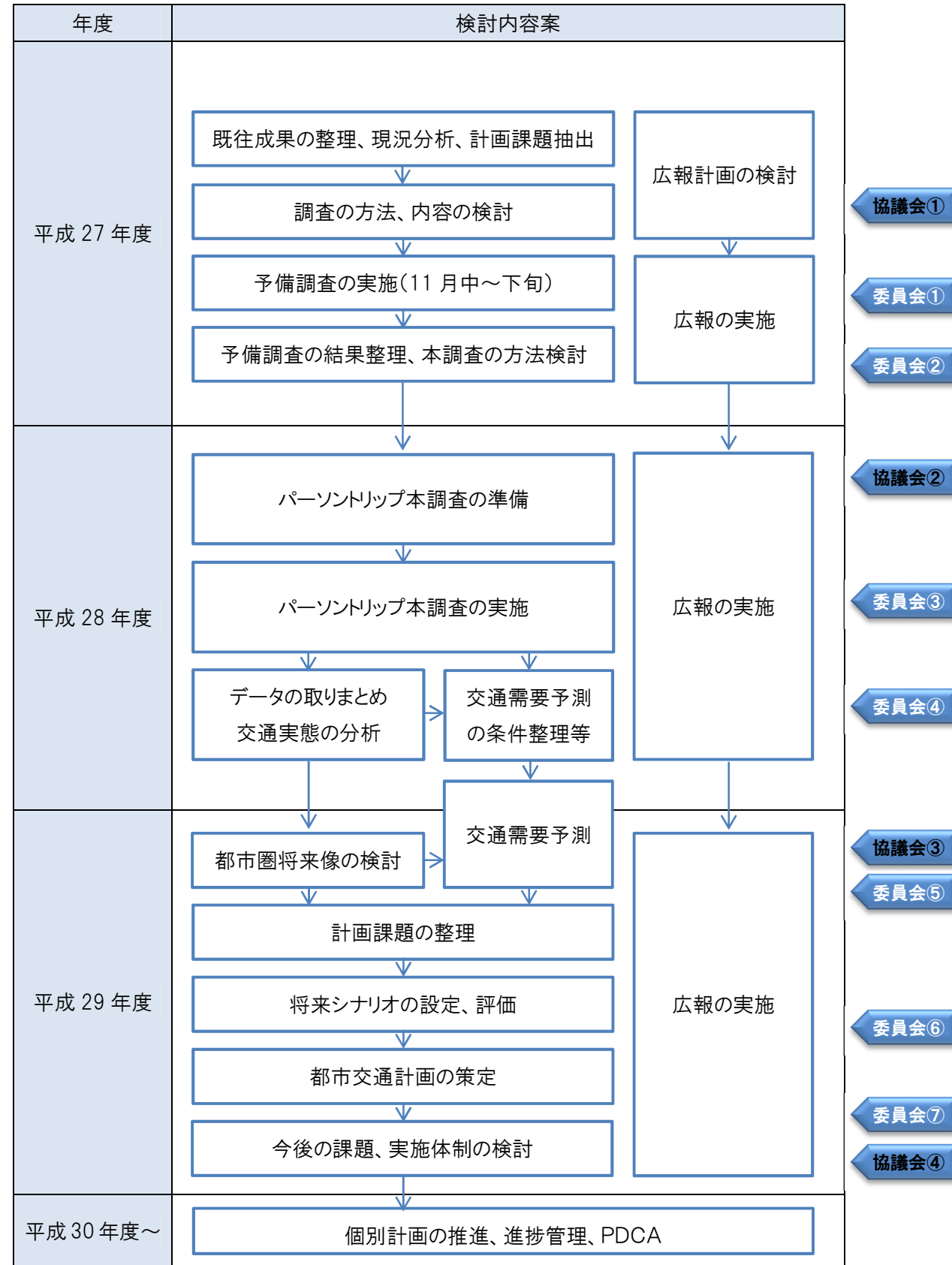


千曲駅開業

3 協議会の検討体制(案)



4 全体スケジュール（予定）



5 協議会の実施内容（予定）

年度	実施内容
平成 27 年度	協議会① ・協議会の設立 ・規約(案)の承認 ・検討体制及びスケジュールの決定
平成 28 年度	協議会② ・H28 事業の予定 ・パーソントリップ本調査の実施内容決定 (調査方法、項目、内容、実施時期)
平成 29 年度	協議会③ ・H29 事業の予定 ・パーソントリップ本調査の結果報告 協議会④ ・長野都市圏総合都市交通計画の決定

